

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	ピタゴラボ城東		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 1日		2026年 2月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11 (回答者数)	7
○従業者評価実施期間	2026年 2月 1日		2026年 2月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10 (回答者数)	10
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 23日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員同士で良好な協力関係・信頼関係があり、報告・連絡・相談が行いやすく風通しの良い環境である。活動的な職員が多く、事業所内が活気で溢れている。	児童のことでなく、ヒヤリハットや再発防止策、虐待研修等の様々な研修内容をすぐに共有・報告し、すぐに実践できる体制を作っている。	朝礼時や週末会議以外でも意見を出しあえる場を設定し、共有や連携を増やしてチームをさらに強化して支援の質を高めていく。
2	運動や学習面など様々な支援を行っており、児童や保護者様の満足度も高くなっている。	朝礼時や週末会議等で児童の様子を綿密に報告・共有しており、利用者それぞれの特性に配慮した支援が実践できるような体制を作っている。	その日利用する児童の目標を朝礼時に確認したり、一人ひとりの支援計画案に記載されている内容を定期的に確認したりして、より満足のいただける支援を提供できるようにしていく。
3	放課後等デイサービスの利用者との関わりを持つことで、異年齢間での交流が活発になっている。その結果、就学時の環境のイメージがしやすくなっている。	土日祝日のイベントを欠かさずおこない、異年齢での交流が生まれるようにグループやペアを工夫したり、配慮した声掛けをしたりしている。	異年齢でのコミュニケーション量を増やし、年上の子に憧れたり、年下の子を思いやりたりできる場を設定する。土日祝日のイベントだけではなく、平日の活動時にもレクリエーションなどを用意してコミュニケーションが活発になるような施設づくりを行っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個室がなく、児童が落ち着けるスペースとして学習室を使用することがあるが、学習室での支援を行うと支援室での支援が手薄になってしまう。	施設内の構造上、支援室と学習室の両方を見渡すことが難しくなっている。	支援室でもストレスなく落ち着けるよう環境整備を行い、より全体を見渡しやすくしていく。
2	遊具に飽きがでてしまい、遊具の扱いが悪くなってしまっている。	使える遊具が常に同じである。また遊具の使い方のルールが曖昧なところがある。	遊具の使用時のルールを明確化する。表やイラスト等、視覚的なツールも用いてルールを徹底していく。週によって使える遊具を変えていくことで遊具に特別感を持たせる。定期的に新しい遊具を購入していく。
3	「家族支援」「移行支援」「地域連携」などの面に課題がある。また、実施していても取り組み内容や目的を保護者様にうまく伝えることができていない点が課題である。	関係機関と連携をおこなう頻度が人員の関係もあり少なくなっている。また、外出支援やお買い物支援など地域との関わりを持つ支援も定期的には実施しているが、それが地域参加などの機会につながっていることやイベント実施の目的をSNSやHPなどの媒体を含め、保護者様に効果的に伝えるための仕組みが構築されていない。	毎月発行する月のイベント内容詳細に支援の観点を盛り込むことで、事業所の活動内容がより分かりやすく伝わる工夫を行う。また、SNSやHPなどの認知度を高めるために、QRコードを載せたり、新規契約の際にはアカウントの登録をお願いするなど広報等にも力を入れる。また、関係機関との連携、保育所訪問などの支援を取り入れていく。

公表 保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果

事業所名	ピタゴラポ城東					公表日	2026年 3月 1日			
					利用児童数	11		回収数	7	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応			
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	5	2	0	0	運動系の活動をするには少しせまいように思います。	ご意見ありがとうございます。運動活動を行う際は、安全なスペースを確保した上で実施するように徹底し、ご心配・ご不安にさせないようにしてまいります。		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	6	1	0	0	日による。	ご意見ありがとうございます。どの日程でもお子様や保護者様が安心してご利用いただけるような職員配置をしております。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	7	0	0	0				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	6	1	0	0	長机が汚いことがあるので、食事イベントの時は少し心配です。	ご意見ありがとうございます。また、ご不安を抱かせてしまい大変申し訳ございません。机等の設備の清掃を今以上に徹底し、改善させていただきます。		
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	6	1	0	0	言語の先生がいつのまにかいなくなってしまうのが残念です。	ご意見ありがとうございます。また、保護者様に残念な感情を抱かせてしまい大変申し訳ございません。職員の異動等があった際は細かくご伝達するようにしてまいります。		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	6	1	0	0	丁寧を考えていただいていると思います。	嬉しいお言葉誠にありがとうございます。引き続き、お子様と保護者様に満足していただけるプログラムを提供させていただきます。		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	6	1	0	0	丁寧を考えていただいていると思います。	嬉しいお言葉誠にありがとうございます。引き続き、お子様と保護者様に満足していただけるプログラムを提供させていただきます。		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	6	1	0	0				
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	6	1	0	0				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	6	1	0	0	イベントはいつもいろいろなお提案があってすごいです。	嬉しいお言葉誠にありがとうございます。引き続き、お子様と保護者様に満足していただけるイベントを提供させていただきます。		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	1	1	2	3	交流イベントに参加していない。	ご意見ありがとうございます。地域との交流に関しましては、外出イベントを毎月実施しておりますので、ご希望がありましたらご参加いただければ幸いです。		
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	7	0	0	0				
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	7	0	0	0				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	1	0	1	親子イベントはあるが、特性に沿った支援ではない。	ご意見ありがとうございます。今後も親子イベントは定期的に実施してまいりますので、よりお子様の特性に沿ったイベントを実施できるように内容検討をしております。		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	6	1	0	0	毎回丁寧なご報告をしてくれています。	嬉しいお言葉ありがとうございます。引き続き、ご利用時のお子様の報告を詳細にさせていただきます。		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	6	1	0	0				
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	7	0	0	0	何か問題があった時に親身になって話を聞いてくれる。	嬉しいお言葉ありがとうございます。引き続き、保護者様とのコミュニケーションを密に行わせていただき、ご相談いただける体制を整えさせていただきます。		
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	0	1	1	他の利用者さんとの交流はないが、必要ないのでこのままで良い。	ご意見ありがとうございます。定期的に保護者様同伴イベントを実施していますので、ニーズが出た際にはぜひご利用くださいませ。			
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	7	0	0	0					

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	7	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	7	0	0	0	LINEでイベントの日は報告いただいている。	ご意見ありがとうございます。引き続き、ご利用時のお子様様子をSNSを用いて報告させていただきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	7	0	0	0		
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6	0	0	1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5	0	0	2		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	6	0	0	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	5	0	0	2		
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	7	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	7	0	0	0	「今日ピタゴヤで」と言うと必ず「やったー！」とよろこんでいます。	嬉しいお言葉ありがとうございます。引き続き、お子様が来所を楽しみにしていただけるような活動内容やプログラム、イベントを立案してまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	7	0	0	0		

公表

児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名		ピタゴラボ城東		公表日		2026年 3月 1日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10	0				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	4	基本的には安定している 送迎の時間やメンバーを調整しているので以前より中が回りやすくなっている 適切になる様にシフトの調整や送迎等を意識している			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	2		部屋の中央の柱が死角となり、全体を見渡せない。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	3	毎日掃除を行い、消毒もおこなっており、安心、安全で過ごしやすい環境作りをしている。	室内ではキズや汚れが目立った状態となっている。 壁がはがれているため修復したい。 壁の塗装のはがれが気になる		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	5	個室がないため、少しせまいスペースに誘導してクールダウンなどをおこなうことをしている。 クールダウンなどをすると学習室を利用している。 宿題を別の場所ですた子どもには学習室を使っている	個室がないため対応しきれっていない。 個室がないので個別療育がしやすい環境とは言えない。 職員の数や来所する子どもによって学習室を使えないことが多々ある。 職員の人数が足りない時は難しい 個室がない。学習室を使っているが手うすになってしまう。		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	2	各自努力はしている。 週礼や月末会議で職員間で振り返る時間を設けることができている。 朝礼や週礼で振り返ることはできている。	共有の面では不足感が残っている。 完璧ではない。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	1	保護者向けの評価アンケートを実施し、意向の把握をはかっている。 2,3ヶ月に1回親子イベントを行っている	保護者向けの評価をはかる機会が少ない		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0	週礼や面談を定期的に行うことで業務改善につながっている。 定期的な面談や会議を実施している。 人間関係が良く、意見を伝えやすい。 週礼でそういう場をつくることができている。 定期的に意見を交換している			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	6	保護者様にアンケートなどを行っている			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10	0	職員全体が社内研修に参加している。 研修内、グループ内での店舗交換研修を実施している。 職員全体の研修に加え、任意で参加できる研修の案内もある。 定期的に研修を行こなえているから忘れないうと思える。			
適	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10	0				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	10	0				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	0				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	1	支援計画書、アセスメントの周知を丁寧に行っている最中なので、継続していき「はい」になっていく。 共有はされている。	定期的な支援計画を目にする機会を作った方が良い		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10	0				
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10	0				

切 な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	0	週末イベントの内容などを全員で考えている。 振り返りや担当者会議等、職員全体で考えられている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	1	取り組みの提案は行っている 毎月様々な分野のイベントを行っている。 児童の好みに合わせて活動を変更している。	全体でのプログラムが行える運用ではない。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	10	0	職員間で適宜状況を共有する場が設けられている。 土日のイベントや平日でも集団活動を実施しこどもの状況に応じて支援を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	2	見守り係などを設定し、滞りなく支援できるように努めている。 前日の共有は朝礼時にしている 朝礼にメモの確認、メンバー確認等を行っている イベント時、朝に職員たちと情報共有し円滑にチームで支援を行なっている。	朝礼時に利用者の共有をもう少し増やした方がよいように感じる 役割分担まで行き届いていないことが時折ある
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	8	週単位で行うことはできている	振り返り、共有はほとんどできていない。 常設化が必須。 週単位で振り返りを行っているため、毎日ではできていない。 毎日の実施はできていない。 記録に残すだけではなく口頭でも伝えた方がいい。 必ずしも行っているわけではない。綿密な共有がされていない。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	1	記録は十分に残すことができている 何かのトラブルがあればリタリコのメモに追加したり朝礼・週礼にて共有している。 リトム（連絡帳）を記入している。	スタッフの負担は偏っている LITALICOに記録されていないことが時折ある
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10	0	全員で振り返りを行ない、見直しをしている。 日々モニタリングを行っている。 定期的にモニタリングを行い職員や保護者様の意見やできる幅を見て適切な支援や見直しが出来ている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	2	保育所と連携して行っている。 児童によっては保育所に共有している。	あまり連携が取れていないように思う
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	1	必要に応じて保育所等と連携が行われている。 訪問等を行ない、情報共有をおこなっている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	4	一部の利用者にはできることがある。 保育所訪問や発達検査の結果を共有してもらっている。	全員はできていない。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				保育園との交流が少ない。
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	7		地域の交流は行えていない。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	8		利用者以外の子どもと接する機会はほとんどない。 地域での交流機会は少ない。 他と関わる機会がない。保護者からのニーズもなく、外部と関わることを優先と感じていない。 施設自体が他機関と交流することが少ない。
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10	0	共通理解が得られるよう声かけは行っている。 朝礼時やリトム・LINE等で現在の状況をお伝えできている 日々の共有をしている		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	4	定期的に親子イベントを行っている。 親子イベントという形で家族参加できる場を設けている。また、それに沿った内容を設定している。 2,3ヶ月に1回親子イベントを行っている	研修は実施できていない。 家族の研修の案内がされていないと感じる	

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	1	契約時、モニタリングで説明を行なっている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	10	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	2	送迎時などでお話を伺うことができている。 親子イベント及びモニタリングにて日々の悩み等を聞く機会を設けている。 送迎時や親子イベント、モニタリング等で支援は伝えている。	モニタリング以外での家族面談は実施されておらず、送迎の保護者対応時に相談や主訴を聞くことがある。 機会を設けていない（モニタリング、送迎時を除く）
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	4	保護者同伴イベントを定期的実施している。 親子イベントはある 2,3ヶ月に1回親子イベントを行っている	父母の会等、保護者同士が顔を合わせる機会を必要と感じていない。保護者からのニーズもない。 別のご家庭の親同士での交流がそこまで積極的に行われていないように見える。 保護者様同士がコミュニケーションを取れているかは分からない
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10	0	苦情・相談があった時はすぐに対応し、ファイリングすることで再発防止に努めている。 苦情があった場合は保護者様に再発防止・対策をお伝えしたり、職員間で共有している	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10	0	定期的にブログ、インスタグラムを更新し、情報発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	1	基本的には留意できている 鍵付きの書庫に入れて厳重に保管している。	扱いや管理が雑になっていることもある 1か所にまとめた。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10	0	それぞれに対応した言葉かけや視覚化を行っている。	
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	7	家族との交流はある	地域交流の場が少ない。 地域交流は少ないため、外出行事などで交流の機会を増やしたい。 地域住民との関わりはない。 地域に根差した交流はあまり展開されていない印象がある。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10	0	定期的に訓練や研修を行い、職員間で共有している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	1		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10	0	事前に情報を把握し、対応できる状態にしている。 都度職員間で共有している。 てんかん等の研修をおこなっている。	もう少しわかりやすい表などがほしい
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10	0	アレルギーのある利用者がある時は提供するおやつ等に留意している。 職員間で共有している。 イベント時やおかしの提供時はしっかり保護者様に確認をおこなっている。	てんかん発作時やその他緊急を要する時の対応を定期的に学びたい。 職員もすぐにわかるアレルギー表が欲しい
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10	0	検討後、実施して再発防止に努めている。 朝礼や週礼で共有できている	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10	0	虐待防止に関する研修を行った。 定期的な研修を実施している。 危険な動きがあり、利用者の体を支えた時は保護者に共有している。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	10	0			